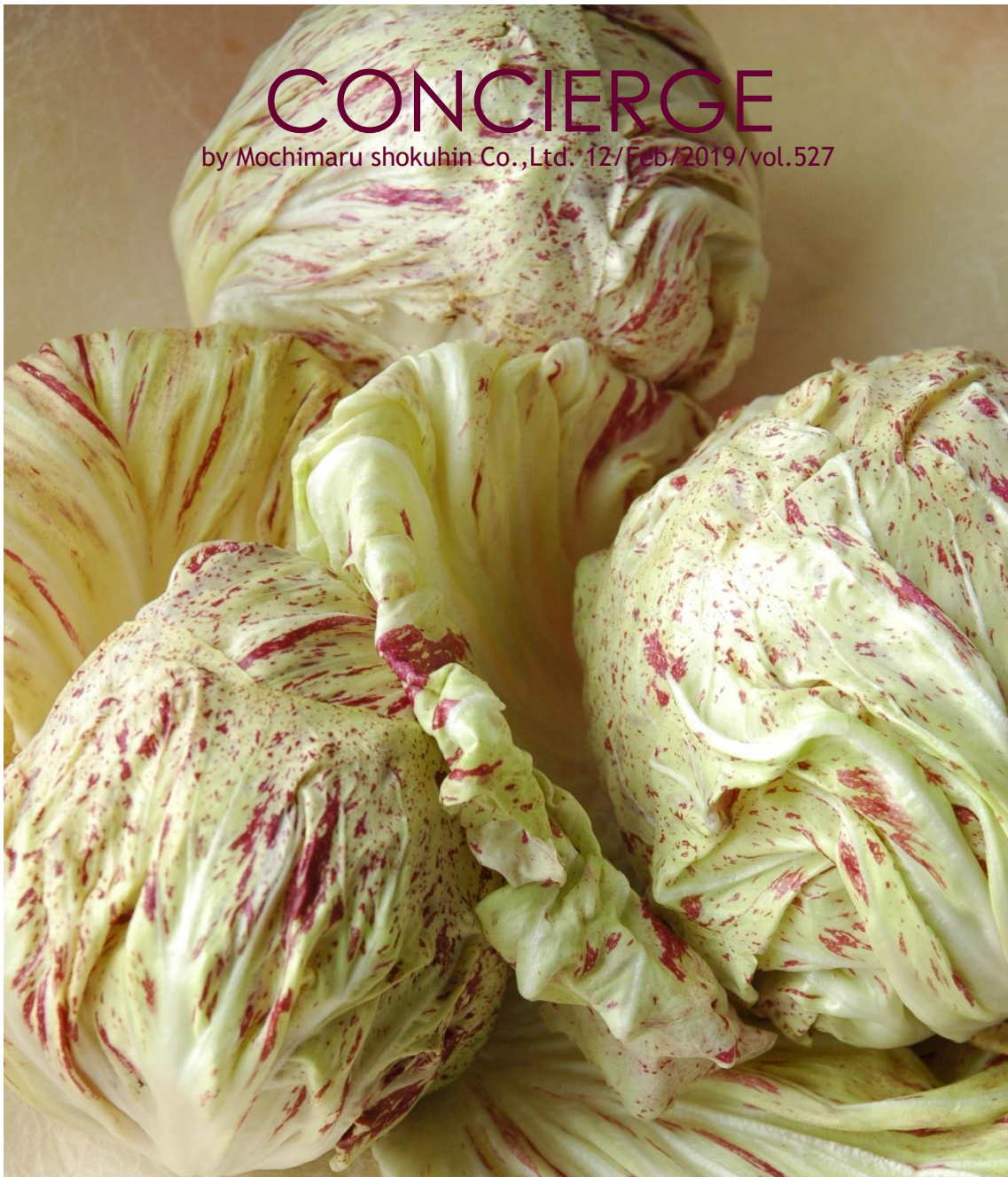


# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 12/Feb/2019/vol.527



## ラディッキオ・ルシア（神奈川県三浦産）Radicchio Bianco di Lusia

現在、国内でカステルフランコと称されている結球タイプの白いラディッキオは、正確には「ラディッキオ・ビアンコ・ディ・ルシア」という品種で、大方はアメリカで栽培され一年を通して日本に輸入されています。イタリアの本来のラディッキオ・ヴァリアゲータ・ディ・カステルフランコは、非常にデリケートで生育期間も限られ、周年での供給は難しいことから商社が日本に導入した際に馴染みやすいカステルフランコの名前を付けて白い仲間のルシアを販売したようです。結球タイプのルシアであれば、一般的なチオッジャと同じように栽培することも可能なようで、近頃は少しずつですが日本の生産者も栽培に取り組み始めています。やや青味がかかったクリーム色に、赤い斑が入った姿は、ほかの野菜には無い繊細で魅力的な姿です。まだまだ一般的とはいえないイタリア野菜ですが、その魅力に懸けていくつかの生産者の取り組みがスタートしています。一般的にラディッキオは生育に3~4カ月の長い期間が必要な栽培の難しい葉物野菜ですが、今回は神奈川県三浦半島で評価に値する Bianco di Lusia が出荷されました。